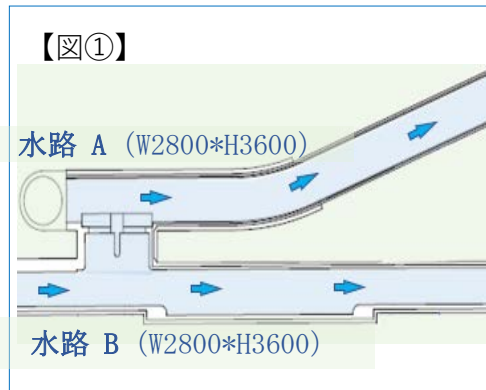
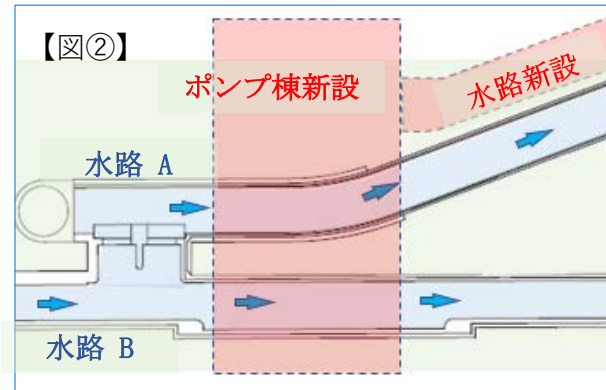


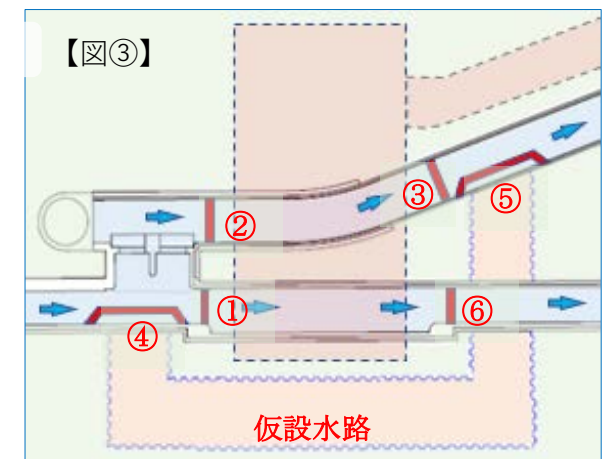
大型処理施設の大型水路w2800mm×h3600mmの水路切替に伴う全自動プラグ使用の水替え工事



【既設水路の平面図】



【変更計画の平面図】



大震災復興の流末処理施設復旧工事で上流側に、【図①】に示す既設水路の機能を維持した状態で【図②】に示す位置にポンプ棟と水路を新設する。水路A、Bは汚水が流れる大型水路で、水深も深く、時間帯では満水状態もあり、作業員が汚水に浸かる作業は不可能な工事。

当大規模流路変更工事に使用した大型プラグ
 (1) バブル型プラグ 4基 図④⑤ (各所2回設置)
 (2) 全自動Box型プラグ 3基 図①②③
 (3) コンクリート壁 図⑥

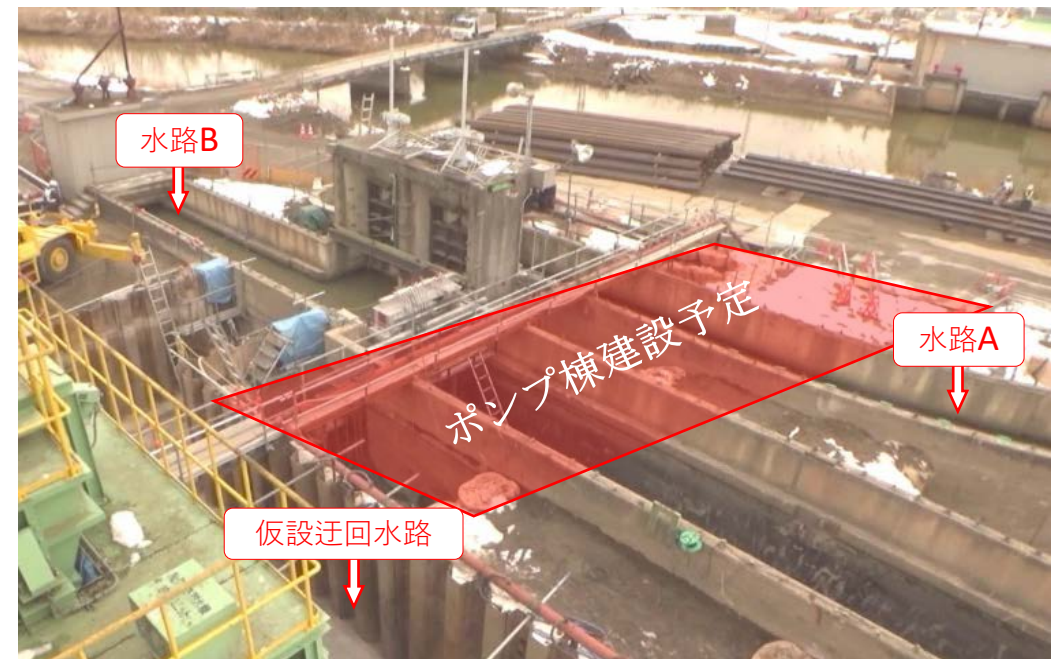


【主要機材】
バブル型プラグ④⑤



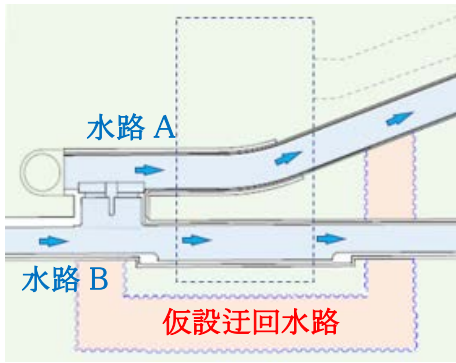
【主要機材】
全自動Box型プラグ①②③

【仮設水路構築時の全体状況】



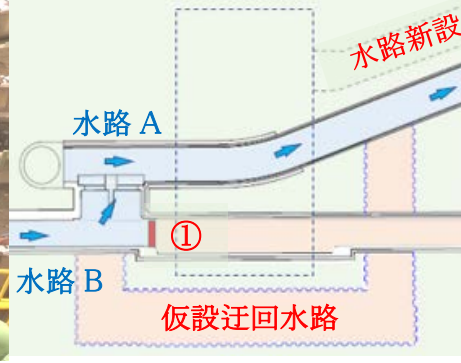
【手順1】

下図に示すように仮設迂回水路を構築する



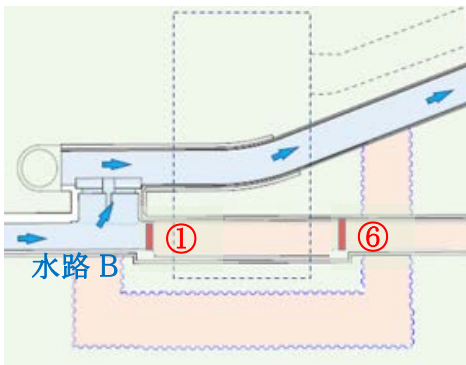
【手順2】

水路Bへ全自動Boxプラグ①を設置、下図のように下流部は湯水状態（写真は設置完了した全自動Box型プラグ）



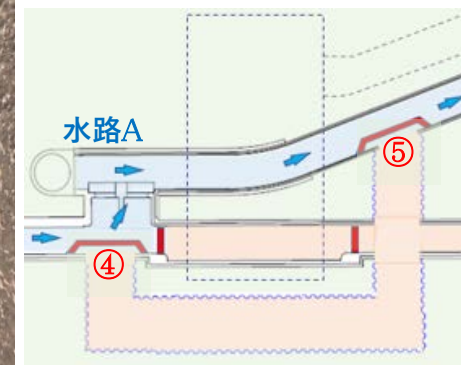
【手順3】

水路Bの下図に示す位置へ⑥コンクリート壁を構築する



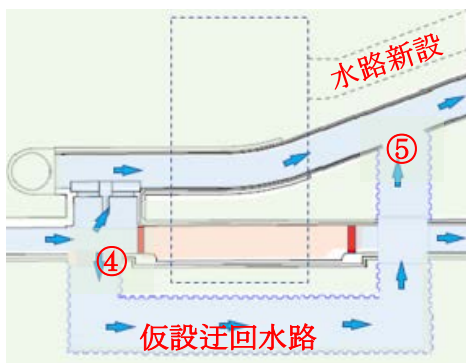
【手順4】

下図に示す位置へバップル型プラグ④⑤を設置する
④⑤設置後水路側壁を解体する（写真は⑤部分水路壁解体後）



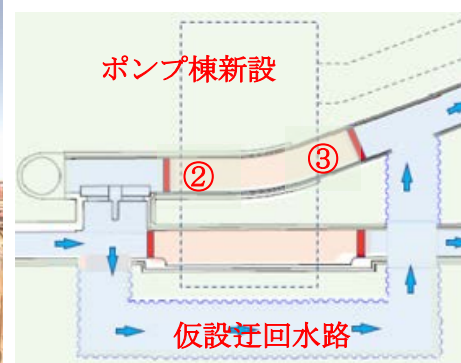
【手順4】

④⑤バップル型プラグを撤去する
（写真はバップル型プラグ④撤去、水路の流水を仮設迂回路へ流す）



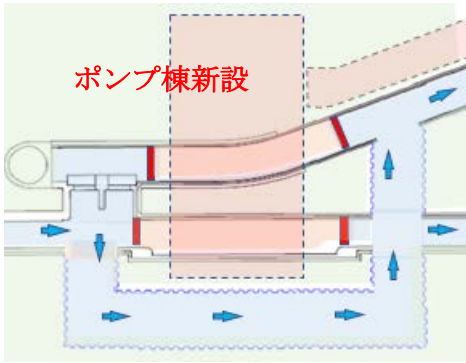
【手順5】

下図に示す水路Aへ②③全自動Box型プラグを設置する



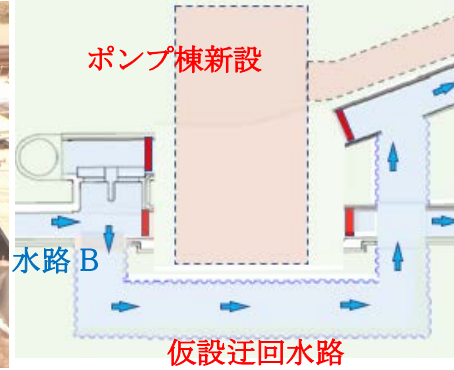
【手順6】

既設水路A、Bの流水は仮設迂回水路に流れ、ポンプ棟建設部分水路は水の無い状態となり、建設工事が進められる。



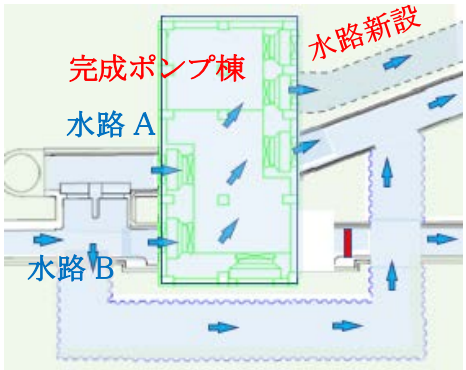
【手順7】

ポンプ棟建設工事中



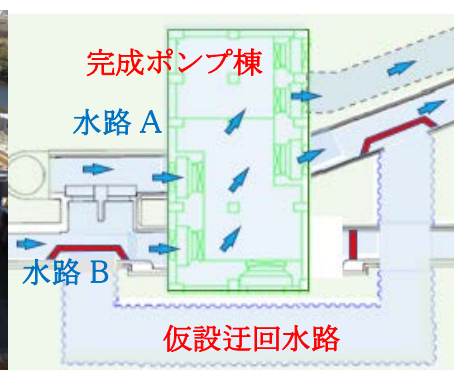
【手順8】

ポンプ棟が完成し、水路A、Bの流水は下図のように流れる。



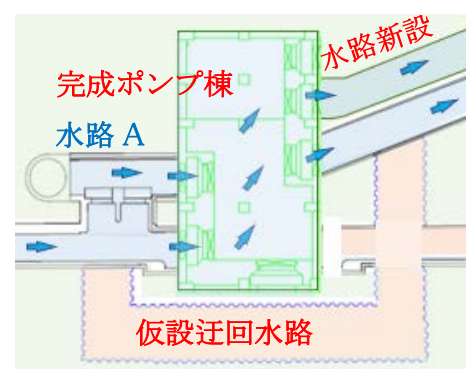
【手順9】

最後に、仮設迂回水路の流入口、流末口部分に水路壁を構築するため前回同様のバツフル型プラグを設置する。



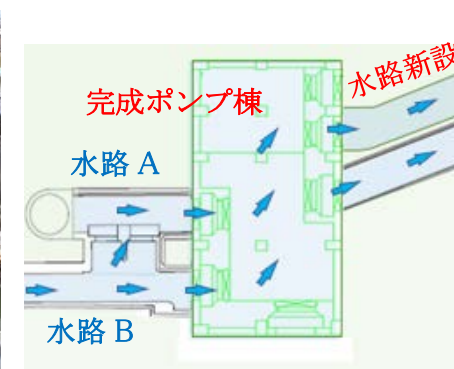
【手順10】

水路壁再構築後、バツフル型プラグを撤去する



【手順11】

仮設迂回水路を解体撤去し、ポンプ棟新設に伴う水路の流路変更工事は完了する。



完了